

チーム名	ミナト・イーグル	Victory	第1セット試合経過
取得点数		1	【ミナト・イーグル】 ①試合の出だしに集中力を欠き、サーブレシーブのミス2本を含め、ミスが多発。 ②試合が進むにつれて、徐々に体が動いてきた印象。 ③チームの大黒柱である、レフトエースは点数と取りかたを熟知。 ④中盤以降に追い上げるも、前半の劣勢を挽回できずセットを落す。
		2	
		3	
		4	
		5	
		6	
		7	
	1		
		8	
		9	
	2		
		10	
	3		
	4		
	5		
	6		
		11	
	7		
		12	
		13	
		14	
8			
	15		
9		【Victory】 ①試合の出だしが好調。ブロックポイント×2本、サービスエース×2本。 ⇒出だし連続7得点は、試合の入りかとしては最高、優位に試合を展開できる。 ②相手チームにボールを返すとき、攻撃で終わっている流れがgood。 ③大きなミスも無く、一度もリードを奪われず、危なげなくセットを奪った。	
	16		
	17		
10			
11			
	18		
12			
	19		
13			
	20		
14			
15			
	21		

チーム名	ミナト・イーグル	Victory	第3 セット試合経過
取得点数	1		【ミナト・イーグル】 ①2セット目を逆転で勝利した事で、完全に息を吹き返した感あり。 ⇒良いリズムでゲームに入れている。4対0と幸先良くリードを奪う！ ②レフトエースがスパイクを、下に落とさなくなった…。 ⇒ブロックアウトが増えてきた印象。 ③18点目のレフトエースのスパイクポイントは、2セット目でも見られた、センターに切り込んだ(移動)攻撃で、相手ブロックを揺さぶりに成功。 ④最後は危なげなく21対14でセットを奪い、セットカウント2対1の逆転で優勝。
	2		
	3		
	4		
		1	
	5		
	6		
	7	作戦タイム①	
	8		
		2	
	9		
	10		
	11		
		3	
	12		
		4	
		5	
		6	
	13		
		7	
		8	
	9		
作戦タイム①	10		
	11	【Victory】	
14		①決定力のあるセンタープレイヤーを使い切れていない。	
15		⇒チームとして試合の組立てを、見直してはどうだろうか…。	
	12	②20点目の失点は、サーブのダブルフォルトであった。	
16		⇒14対19で負けている場面なので、ファーストを8割程度で抑えていれるか、セカンドは確実に入れる場面である。但し、チーム方針として、サービスエースを取れるサーバーなので、追いつく為の勝負をする事で合意が取れていれば、有り得る選択ではある。大事なのは、ダブルフォルトした目的である、要はミスしたプレーが、次の試合に繋がるか否かである…。	
	13		
17			
18	作戦タイム②		
19			
	14		
20			
21			